

## 1. 研究室概要

大学名	埼玉大学 大学院		研究者	弥益 恭
			職位	教授
研究領域	分子発生生物学(脳発生学)		窓口担当	AMI 研究センター(綿貫)
研究キーワード	脳発生、神経分化、脊椎動物、ゼブラフィッシュ、遺伝子導入、転写制御、遺伝子発現			
住所	埼玉県さいたま市桜区下大久保255			
電話	048-858-3849	E-mail	coic-sangaku@ml.saitama-u.ac.jp	
FAX	048-858-9419	URL	http://devbiol.seitai.saitama-u.ac.jp/	

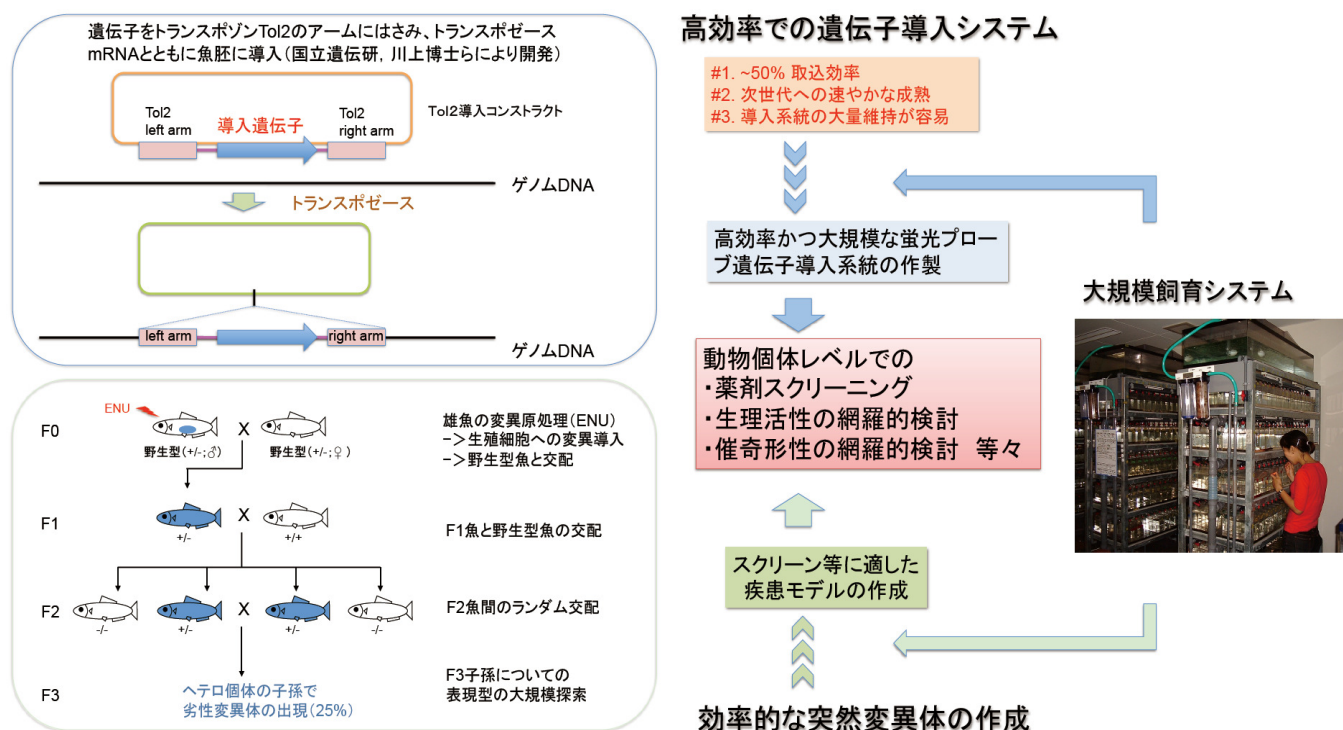
## 2. 技術PR事項

## 『動物個体レベルでの大規模薬剤スクリーニングに利用可能なモデル動物作製』

創薬のためには動物個体レベルでの薬剤スクリーニングあるいは特定生理活性の大規模検討が必要です。突然変異体や蛍光プローブ遺伝子を導入した遺伝子導入魚の作製が簡単に行え、かつ大量飼育が可能であるゼブラフィッシュが大規模薬剤スクリーニングに有効です。

## 1. 疾患モデル、遺伝子導入魚作製の概要

- ◇ 遺伝子導入(左上) あるいは疾患モデルとなりうる突然変異導入ゼブラフィッシュ(左下)を大量に速やかに育て、薬剤スクリーニングや生理活性の大規模検討を動物個体レベルで実現します。



## 2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ 分子プローブの魚への導入、疾患モデル作製についての共同研究を希望します。  
また、創薬などに必要とするスクリーニング、分子プローブについてのご提案を期待します。

## 3. 特記事項

- 代表論文: Dev Biol. (2011) 350:154-68; Mech Dev. (2009) 126:1-17; Dev Biol. (2008) 316:471-86  
詳細は <http://devbiol.seitai.saitama-u.ac.jp/>